

編集委員異動（平成十八年度）

平成十八年四月一日付で美術部主任研究官勝木言一郎は企画情報部情報システム研究室長に昇任した。

平成十八年四月一日付で協力調整官―情報調整室長山梨絵美子は企画情報部文化財アーカイブズ研究室長に配置換えとなった。

平成十八年四月一日付で協力調整官―情報調整室研究員皿井舞は企画情報部研究員に配置換えとなった。

平成十八年四月一日付で協力調整官―情報調整室研究員江村知子は企画情報部研究員に配置換えとなった。

美術部報（平成十八年度）

美術部オープンレクチャー

第四十回美術部オープンレクチャー「人とモノの力学」を研究所セミナー室において左記のとおり開催した。

十月二十七日（金）午後一時三十分～四時三十分

十世紀の造寺造仏

企画情報部

皿井 舞

奈良・興福寺の造像と図様継承

神奈川県立金沢文庫

瀬谷 貴之

十月二十八日（土）午後一時三十分～四時三十分

雪舟と宗湛

綿田 稔

本朝画史の情報と成立

兵庫県立歴史博物館

五十嵐公一

『日本美術年鑑』の刊行

美術部編集による『日本美術年鑑』平成十七年度版（平成十六年一月～十二月の記事）は平成十九年三月に刊行された。

黒田清輝巡回展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝巡回展（近代日本洋画の巨匠 黒

編集委員異動・美術部報

田清輝展）を、平成十八年七月十五日（土）から八月二十七日（日）まで、豊田市美術館で開催した。

研究会

五月二十四日 根生いの分限、画家への変貌―尾形光琳をとりま

く環境と画風形成― 企画情報部

江村知子

六月二十八日 善光寺式阿弥陀如来像―仏像そのものを原型にし

て鑄造・増殖する作例の紹介―

津田徹英

九月二十七日 黒田清輝がいる「場所」

―自邸・葵橋洋画研究所・墓所―

田中 淳

十二月十八日 曾我物語図の系譜および土佐派の物語絵について

―宗達、光琳へとつづく絵画表現の水脈―

企画情報部 江村知子

土佐光吉と大画面絵画

成城大学 相澤正彦

発禁美術図書について

文星芸術大学 青木 茂

一月十日 絵画の表面について―小出檜重を例に―

横浜・龍華寺蔵 菩薩半跏像をめぐる知見

小林未央子

二月七日 横浜・龍華寺蔵 菩薩半跏像をめぐる知見

企画情報部

津田徹英

二月二十八日 平安時代前期の工房と上醍醐の造像

皿井 舞

三月二十八日 川端玉章の研究

塩谷 純

国際シンポジウムに向けての研究会

第一回（四月二十六日）

国際シンポジウムの開催に向けて

第二回～第八回（五月三十一日、六月七日、七月五日、七月二十六日、八月九日、

九月六日、十月四日）

テーマと内容についてのブレインストーミングならびに方向性の検討